

令和 8 年度 道徳教育 全体計画

学校 番号	14	長野 高等学校	定 課程	普通 科
----------	----	------------	------	------

学校教育目標	
1. 個人の尊厳を重んじ、真理と平和を愛し、国家社会の有為なる人材の育成を期する。 2. 高邁にして、明朗闊達、至誠一貫、質実剛健、和衷協同の精神を涵養し、身体の鍛錬と相まって、心身の調和的発達をはかる。 3. 生徒の個性を豊かに伸ばし、各々その目的を達成させるために適切な指導をする。	
重点目標	
1. 安心して学べる環境をつくるために、一人一人の生徒の様子を的確にとらえる。 2. 基本的な生活習慣の確立にむけ、きめ細やかに生徒に接する。 3. わかる授業と力を伸ばす教育を実践するために、一人一人の理解度・進路希望に応じた指導を行う。 4. キャリア教育の充実や校外活動の充実を通じて、自立できる人間となれるようサポートする。 5. 開かれた学校となるように、ホームページなどを用い広く情報発信をする。	

道徳教育の重点目標	
1. 生命・人権を尊重すると共に、社会における義務と責任を持てる力を養う。 2. 社会での自活に必要な基本的な生活習慣を確立し、また社会人として必要な礼儀・マナーを身につける。 3. すべての生徒が安心して学校生活を営むことができるよう相手の立場や人格を尊重する思いやりの心を育てる。	

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等	各教科	
1年	学校内外での諸活動を通して、社会の一員として自律的な行動および他者への尊重できるように、基本的な力を養う。	卒業後の進みたい進路を考える意識づけにきっかけをつくと同時に基礎的習慣をつけていく。 ○アルバイトやインターンシップを勧める ○進路を考えるきっかけづくりのキャリアガイダンスの活用	クラスメイトとの行動により対人関係を構築するスキルを得るために必要な積極性や他者との協調性を身に付ける。 ○各種の事例研究から SNS の有効的な活用法を学習 ○いじめを主眼に人権学習	集団の活動を通じ、自己と集団が共に成長できる力を養う。 ○生徒会活動での役割認識と活動参加の手順の習得 ○文化祭での生徒会活動への参加	国語	言葉での論理的思考力を高め、他者とのコミュニケーション力を磨き、社会における道徳的心情や適切な行動ができる判断力を育む。
2年	1年生での経験を基に主体的に行動する力の育成と、自己の在り方や生き方の内面性を高める。集団の一員として協働する態度を学びつつ、他者との距離感を考慮しながら人間関係を築きあうものにする。	将来を展望し、進路を自分自身で考えるようにして、具体的な進路目標の設定と実現に向けた学びに取り組む。 ○アルバイト等の職業体験 ○進学・就職探究 ○課題研究	社会でのコミュニケーションの大切さを学び、他者への尊重が自尊感情を高めることを認識しながら、より良い集団づくりに向けて主体的に行動する。 ○平和学習 ○人権学習（文化やLGBTなどの多様性など）	上級生と協力しつつ主体的に行動し、協調心を持った自主的・実践的な態度の形成。 ○学年混合の諸活動（集団活動での一定のルールの必要性） ○文化祭での活動 ○生徒会行事の運営	地理歴史	社会との関連を意識して課題の設定をし、世界各地域での人々の生き方や歴史を学ぶことで、他者への積極的な関心を持つ力を育む。
3年	卒業後の社会人に必要な社会の諸課題に対して主体的に解決する意欲と能力を育成し、幅広い視点を持ちつつ全ての人が尊重される社会の実現をめざす内面的成長を促す。	社会の構成員となる自覚を持ち、互いを尊重できる社会を目指す気持ち・行動を養う。 ○アルバイト等の体験を生かした就職活動 ○社会貢献を含めた進学研究	社会の構成員になる自覚を持ち、在学中に学校や地域社会の諸課題を主体的・意欲的に解決する能力の育成。 ○高校卒業後の自己の在り方 ○人権学習（社会生活の中の権利と責任）	社会人の自覚を持てるように人権尊重の社会の実現に向けた校内外の活動に取り組む。 ○生徒会の運営の中心 ○文化祭の運営の中心 ○ボランティア活動	公民	現代社会との関わりを意識した課題探究により、未来の社会を考えつつ、周囲と協調する生き方を選択出来る力を育む。
					数学	数学的な見方・考え方や論理の形成に触れることを通じ、論理的思考力を育み、粘り強く考える態度や創造性を養う。
					理科	自然界の事象を探究する活動を生かして、環境に配慮してグローバルな視点をもった判断力や真理を大切にす態度を育成する。
					保健体育	身体活動を伴う授業において、集団で目標達成へのアプローチ等を通して、他者との協力と存在を認めていく態度を養う。
					芸術	芸術的な見方・考え方を学び、感性を高めることで、心豊かな生活や社会を創造する精神を養い、豊かな情操を培う
					外国語	未知の言語の学びから異文化への関心理解を深め、外国語を用いてコミュニケーションを試みる積極性を養う。
					家庭	日常生活にある伝統的な見方・考え方も学ぶことで、家庭や地域社会の一員の自覚を持ちつつ、自分の生き方を考える態度を育成する。
					情報	機器を扱える能力と共に、情報モラルの学習を通じて、情報社会で適正な行動がとれる考え方や態度を身に付ける。
					総合的な探究の時間	各事象について探究する考えや多方面の見方を学習する過程を通して、課題解決に自主性と周囲との協働性の両者が必要であることを経験し、そこから新たな価値を創造しよりよい社会を実現する力を養う。

家庭・地域との連携	・校内の諸活動により地域に貢献できる学校として、周辺清掃や学校園芸の活動等を通じ、社会との連携を深めながら生徒が主体的に社会に貢献しようとする態度を育成する。 ・日常生活の中で生徒の自尊感情を高めるとともに他者を尊重する心を育て、よりよい社会の構成員としての自覚を高められるように、家庭との連携を緊密にしていく。
-----------	---